

# 「HOKKAIDO不登校対策プラン」への意見のぼしゅう

このプランは、不登校（ふとうこう）により学びや相談できない子どもをゼロにするために学校と教育委員会（きょういくいいんかい）がおこなう取組をまとめたものです。

新しい計画を作るために、みなさんの意見を聞かせてください。

## [HOKKAIDO不登校対策推進プランの概要](#)

ブラウザの「戻る」「更新」ボタンを使用すると正しく処理できませんので、使用しないでください。

**必須** 印は必須項目です。必ずご記入ください。

**60分間通信がない（ページ移動がない）場合、タイムアウトとなり入力内容が破棄されます。ご記入に時間がかかる場合は一時保存をご利用ください。**

### 【1】年代 **必須**

年代をおこたえください。

- 小学生
- 中学生
- 高校生
- その他の子ども

### 【2】安心して学べる学校について **必須**

先生が自分のよいところを認（みと）めてくれると不登校（ふとうこう）になりやすいと思いますか？

- そう思う
- どちらかといえば、そう思う
- どちらかといえば、そう思わない
- そう思わない
- わからない

### 【3】居心地（いごち）のよいクラスについて **必須**

**【テストモード】**

（こち）のよいクラスにするために、人間関係（にんげんかんけい）づくりやコミュニケーションについて学ぶ授業（じゅぎょう）は必要（ひつよう）だと思いますか？

- そう思う
- どちらかといえば、そう思う
- どちらかといえば、そう思わない
- そう思わない
- わからない

**【4】 授業（じゅぎょう）について 必須**

「みんなが活躍（かつやく）したり、出番（でばん）があったりする授業（じゅぎょう）」や「みんながわかる授業（じゅぎょう）」がたくさんあると、不登校（ふとうこう）になりにくいと思いますか？

- そう思う
- どちらかといえば、そう思う
- どちらかといえば、そう思わない
- そう思わない
- わからない

**【5】 パソコンやタブレットをつかった健康観察（けんこうかんさつ）について 必須**

毎日の健康観察（けんこうかんさつ）にパソコンやタブレットをつかい、先生が子どもの心や体の変化（へんか）に気づく取組は必要（ひつよう）だと思いますか？

- そう思う
- どちらかといえば、そう思う
- どちらかといえば、そう思わない
- そう思わない
- わからない

**【6】 学校での相談について 必須**

担任（たん にん）の先生や保健室（ほけんしつ）の先生、スクールカウンセラーなどと相談しやすい仕組みをつくることは大事だと思いますか？

- そう思う

**【テストモード】**といえ、そう思う

- どちらかといえ、そう思わない
- そう思わない
- わからない

#### **【7】 学べる場所について 必須**

学校に行けるけれど、自分のクラスに入れないうきに、学校の中の空き教室などに、自分のペースで学習や生活できる場所があるといいと思ひますか？

- そう思ふ
- どちらかといえ、そう思ふ
- どちらかといえ、そう思わない
- そう思わない
- わからない

#### **【8】 オンラインでの授業（じゅぎょう）について 必須**

自分のクラスに入りづらいうきに、パソコンやタブレットから、オンラインで授業（じゅぎょう）に参加（さんか）したり、先生たちに相談できたりすると、いいと思ひますか？

- そう思ふ
- どちらかといえ、そう思ふ
- どちらかといえ、そう思わない
- そう思わない
- わからない

#### **【9】 その他について**

その他に、なにか意見があればおこたえください。

(200文字まで)

【テストモード】

確認

お問い合わせ先	
部署名	保健福祉部子ども政策局子ども政策企画課
電話番号	011-204-5235
メールアドレス	<a href="mailto:hofuku.kodomo1@pref.hokkaido.lg.jp">hofuku.kodomo1@pref.hokkaido.lg.jp</a>

北海道電子自治体共同システム 電子申請サービス

[▲ページ上部へ](#)

# 「HOKKAIDO不登校対策プラン」の概要（やさしい版）

## 1 計画の名前 HOKKAIDO不登校対策プラン



2 計画の目的  
不登校により学びや相談できない子どもをゼロにするために、学校と教育委員会が行う取組をまとめたものです。  
※不登校とは、病気などの理由以外で1年のうち30日以上、学校に行けない状態のことです。

3 計画の期間  
「令和6年4月～令和10年3月（4年間）」の新しい計画を作ります。



4 計画の内容  
この計画では、支援が必要な子どもたちが学びの機会を得られるようにすることと、すべての学校を誰もが安心して学べる場にすることを目標としています。

項目	取組の内容
①安心して学べる学校づくり	授業への満足度や学校生活への安心感など、学校の雰囲気を把握し、児童生徒が主役になって安心して学べる学校づくりを進めます。
②悩みやつらい気持ちを見逃さず、「チーム学校」で支援	児童生徒が悩んだときに、安心して周囲の大人や友人に助けを求め、方法を身につけ、相談を受けた学校の先生たちが協力して悩みを聞きます。
③学びの場を確保	児童生徒の思いに寄り添いつつ、一人一人に応じて支援を行います。

5 新しい計画のポイント  
新しい計画では、特に、次のことに取り組んでいきます。

項目	取組の内容
①安心して学べる学校づくり	自分という存在が大事にされていると実感できる学校づくりを進めます。
②悩みやつらい気持ちを見逃さず、「チーム学校」で支援	パソコンやタブレットを使って心や体調の変化を早く見つけ、担任の先生や養護教諭、スクールカウンセラーなどいろいろな人に相談しやすい学校にします。 いろいろな相談窓口をお知らせします。
③学びの場を確保	クラスに入りづらい時に、落ち着いた空間で学習や生活ができる場所をつくれます。 パソコンやタブレットを使って学習や相談できるようにします。

6 意見の出しかた  
スマホやパソコンなどで、かんたんに手続きができます。

URL : <https://www.pref.hokkaido.lg.jp/hf/kms/kodomoikenkeikaku.html>

